



# 「地方創生10年の取組及び 魅力的な地域づくりに係る意見交換会」について

9月10日（火）15：00～16：30



# (1) 秋田県



# 秋田県の女性活躍推進に 係る取組について



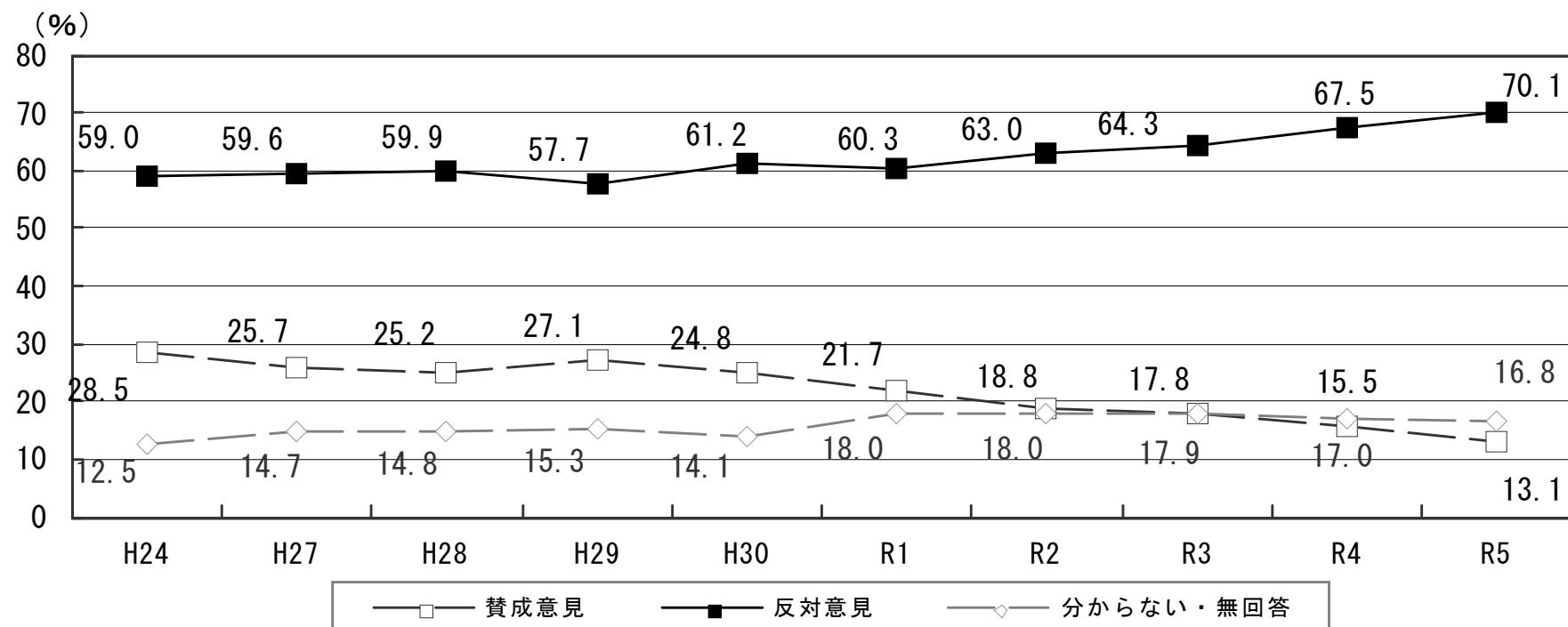
令和6年9月10日  
秋田県理事 丹治 純子

# 秋田県民の意識の変化

## 県民意識調査

【対象】秋田県に居住する満 18 歳以上の男女(全県 25 市町村の選挙人名簿を基にした層化抽出法)

### 「男は仕事、女は家庭」という意識への賛否の推移(年度別)



出典：県次世代・女性活躍支援課「秋田県男女の意識と生活調査」  
県総合政策課「県民意識調査報告書」

## 秋田県男女の意識と生活実態調査

問 政治・経済・地域などの各分野で女性リーダーを増やすときに、何が障害だと思いますか。

1. 保育・介護・家事などにおける夫などの支援が十分ではない(53.1%)
2. 長時間労働の改善が十分ではない(39.6%)
3. 保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではない(38.3%)
4. 男性の上司・同僚・部下や顧客が女性リーダーを希望しない(35.4%)
5. 女性自身がリーダーになることを希望しない(34.6%)

# 女性が輝く地域づくりに向けて

## － 女性が輝く地域づくりに向けた4つの柱 －

### 1 女性自身の意識改革 ~女性の挑戦や活躍を後押し~

#### 「女性自身の意識改革に向けた講演会等の開催」



- ◆ 県内で働く女性同士のネットワークの構築・拡大
- ◆ 講演会・ワークショップの開催による学びの場の提供

### 2 企業経営者の理解促進~女性活躍推進企業の拡大~

#### 「企業経営者・マネジメント層向け研修会の開催」

- ◆ 各地域で中核となるロールモデル企業の育成
- ◆ 経済団体等との連携強化による取組事例の普及



### 3 若年女性の定着・回帰 ~首都圏若年女性との交流~

#### 「首都圏若年女性との交流会と課題解決に向けた取組促進」



- ◆ 若年女性の秋田に対する本音やニーズを把握・深掘り
- ◆ 若年女性のネットワークを活用した情報発信

### 4 県民の理解促進 ~地域における女性の参画拡大~

#### 「ジェンダー・ギャップ解消に向けた理解促進」

- ◆ 「地域の女性参画の促進」に向けた相互理解
- ◆ 「ジェンダー・バイアス」を取り除く広報・啓発



～持続可能な活力ある秋田～

# 女性自身の意識改革に向けた官民一体の取組

## 「継続的に優秀な人材を輩出できる仕組みと育成の場」～女性の活躍のプラットフォーム～

女性が職場や地域で活躍できる社会の実現に向け、民間企業と県で働く女性で構成されるプロジェクトチームを設置し、官民一体で講演会やワークショップを企画・運営

### ■ 講演会

回数 年1（11月）開催

目的 スタッフ・メンバーの広い視座の獲得と県民向けの意識啓発

内容 県内外の企業経営者や管理職等による講演



### ■ ワークショップ

目的 キャリアアップに対する意識向上やキャリアプランニングに向けた継続的な学習・実践と地域や業種を超えたネットワークの構築

内容 ①ゲストスピーカーによる講話  
②グループディスカッション

|    | 社会人・大学生                         | 高校                       |
|----|---------------------------------|--------------------------|
| 回数 | 年4回<br>6月・11月：対面<br>8月・1月：オンライン | 年3回<br>対面：1回<br>オンライン：2回 |



女性の活躍推進プロジェクト  
ラウンドテーブル

次代を担う秋田の女性を応援!

官民が一体で女性活躍の取組を推進

秋田県では、女性が職場や地域で活躍できる社会の実現に向け、民間企業と県で働く女性で構成されるプロジェクトチームを設置し、官民一体で講演会やワークショップを企画・運営しています。

女性自身の意識改革 地域や業種の枠を超えたネットワークの構築

— 高校生から社会人までの女性のキャリア形成に役立ちます！ —

**高校生**  
生徒のキャリア形成を後押し。  
働くことへのイメージアップ

**大学生**  
キャリアプランを考える。  
働く女性のリアルな意見や情報をキャッチ

**社会人**  
働く女性の人材育成。  
働き続けること、キャリアアップへの意識醸成  
※女性同士のネットワーク構築

どなたでも参加可能！ 講演会  
自由な意見交換の場！ ワークショップ

女性の活躍推進プロジェクト「ラウンドテーブル」事務局  
秋田県あきた未来創造次世代・女性活躍支援課 女性活躍・育立支援チーム  
TEL 018-860-1555 E-mail persons@pref.akita.lg.jp

QRコード

# 企業の経営者・マネージメント層向け研修会

県内3地区で開催

## “女性が輝く職場づくり研修会”

### 対象者

県内企業の  
経営層とマネージメント層  
各地域 それぞれ10名程度

女性活躍推進に取り組む効果やメリット、誰もが働きやすい職場環境の整備等について学び考える研修会を開催

### プログラム

過去の取組内容はこちらから

秋田県 女性が輝く職場づくり



| 名 称    | テ マ   |
|--------|---|
| 第1回研修会 | 社内で女性活躍が進まない原因とは（自社の現状や課題とその原因の深掘りなど）       |
| 第2回研修会 | 自社の強みを生かし、弱みを克服するには（県内企業の取組事例の紹介、取組目標の設定など） |
| 第3回研修会 | 目標に向けて今日から始める具体的な行動とは（社内で取組を推進するための方策の検討など） |
| 第4回研修会 | 経営戦略（行動変革宣言）報告会／交流会～女性活躍推進への企業としてのコミットメント～  |

（経営層の方は第4回研修会に、マネージメント層の方には全ての回（計4回）にご参加いただきます。）

# ジェンダー・ギャップ解消に向けた取組

## みんなで気づいて×築く地域の未来

### 【相互理解のためのワークショップ】

ジェンダー・バイアス（社会的・文化的な性差別や偏見）の払拭に向け、「地域の女性参画の促進」をテーマとした講師による講演や、参加者によるワークショップを通じ、地域コミュニティの活性化や、県民が自ら気づき、行動変容につながる仕掛けづくりを行う。

#### <講師>



独立行政法人 国立女性教育会館 理事長  
立教大学名誉教授

萩原 なつ子 氏

#### <開催概要>

| 日 時     | 場 所                  |
|---------|----------------------|
| 9/7(土)  | にかほ市総合福祉交流センター「スマイル」 |
| 9/27(土) | 北秋田市民ふれあいプラザ コムコム    |
| 9/28(日) | 湯沢市文化交流センター          |

# 経済団体との連携

県内事業者全体で男性の積極的な家事・育児への参画を促進  
共働き・共育てを実現！

【あきた女性の活躍推進会議メンバー】

商工会議所連合会、商工会連合会、中小企業団体中央会、経営者協会、秋田経済同友会、農業協同組合中央会、連合秋田、県中央男女共同参画センター、秋田労働局、市長会、町村会、県  
(オブザーバー:信用保証協会、秋田銀行、北都銀行、あきた企業活性化センター)

## 官民一体で推進する目標値を決定

◆ 男性の育児休業取得率

・2025年度までに 50%      ・2030年度までに 100%

◆ 6才未満の子どもがいる夫婦の1日あたりの家事・育児時間

・2026年度までに2021年度より 夫:+60分 妻:-60分

# 首都圏の女性と秋田をつなぐ新たな取り組み

#いいね秋田

## 見つける×つながる Woman's cafe

秋田の魅力発信・ネットワーク構築

### 事業目的

- 若年女性のニーズ等の把握及び定着・回帰に関する意識の醸成
- 若年女性のネットワークの形成

参加者に秋田の魅力を発信し、秋田に対して関心をもつていただくことを目指し、将来的な選択肢の一つとして「秋田へ移住・回帰すること」を考えるきっかけを作る。

### 秋田の魅力を発信！

- 把握したニーズを県や県内企業等へフィードバックし、官民の取組へ反映
- LINE等を活用したオンラインコミュニティを形成し、秋田で働く魅力や秋田暮らしの魅力を発信！



# 成果指標（KPI）

|   | 指標名(単位)                                     | 年度  | 2019<br>(R元) | 2020<br>(R2) | 2022<br>(R4) | 2023<br>(R5) | 2024<br>(R6) | 2025<br>(R7) |
|---|---|-----|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| ① | 「男は仕事、女は家庭」という考え方に対する人の割合(%)                | 目標  |              |              | 65.0         | 66.0         | 67.0         | 68.0         |
|   |   | 実績  | 60.3         | 63.0         | 67.5         | 70.1         |              |              |
|   | 出典:県「県民意識調査」                                | 達成率 |              |              | 103.8%       | 106.2%       |              |              |
| ② | 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定企業数(従業員数100人以下の企業)(社) | 目標  |              |              | 350          | 400          | 450          | 500          |
|   |   | 実績  | 172          | 241          | 374          | 466          |              |              |
|   | 出典:厚生労働省「都道府県別女性活躍推進法に係る一般事業主行動計画策定届出状況」    | 達成率 |              |              | 106.9%       | 116.5%       |              |              |
| ③ | 民間事業所の管理職(課長相当職以上)に占める女性の割合(%)              | 目標  |              |              | 20.5         | 21.0         | 22.0         | 23.0         |
|   |   | 実績  | 18.6         | 19.3         | 21.1         | 22.2         |              |              |
|   | 出典:県「労働条件等実態調査」                             | 達成率 |              |              | 102.9%       | 105.7%       |              |              |
| ④ | 民間事業所における男性の育児休業取得率(%)                      | 目標  |              |              | 13.0         | 14.0         | 15.0         | 16.0         |
|   |   | 実績  | 8.8          | 10.7         | 17.9         | 32.6         |              |              |
|   | 出典:県「労働条件等実態調査」                             | 達成率 |              |              | 137.7%       | 232.9%       |              |              |

出典:新秋田元気創造プラン



## (2) 山形県酒田市

日本一

# 女性が働きやすいまちを目指して

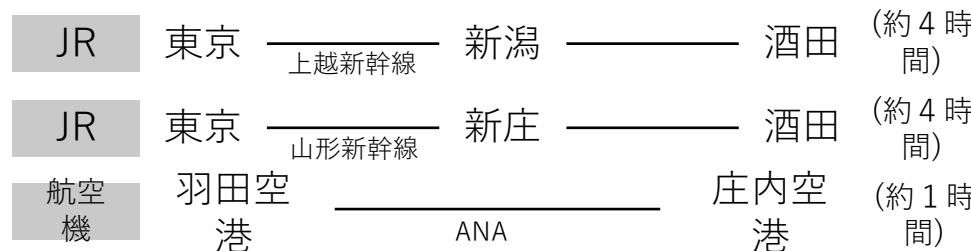
令和6年9月10日  
酒田市長 矢口 明子



# 酒田市の概要



- 山形県の日本海側に位置
- 人口 約9万5千人
- 面積 約600km<sup>2</sup>
- アクセス



# 山形県の現状



## 【共働き率】

山形県：59.9% ※全国第2位

<R2国勢調査／総務省>

## 【育児をしながら働く女性の割合】

山形県：87.2% ※全国第2位

<R4年度 就業構造基本調査／総務省>

## 【1日当たりの仕事・家事等の平均所要時間】

平日 仕事 女性：6時間41分 男性：7時間58分

家事 女性：3時間22分 男性：1時間7分

育児 女性：1時間40分 男性：18分

<令和元年度ワーク・ライフ・バランス、男女共同参画及び  
女性活躍に関する県民意識・企業実態調査／山形県>



# 本市の現状



## 【人口】

94,555人 (R 6.7.31現在 住民基本台帳より)

◆H22年：111,151人、H27年：106,244人、R2：100,273人 (各年国勢調査より)

※H22⇒R2の10年間で△10,878人

10年間で約1割減少

※H27⇒R2の5年間で△5,971人

## 【雇用情勢について】 (R 6.7月分 ハローワーク酒田公表データより)

◆有効求人倍率 1.51倍 (山形県の求人倍率1.29倍)

◆R6.3月新規高卒者の就職状況

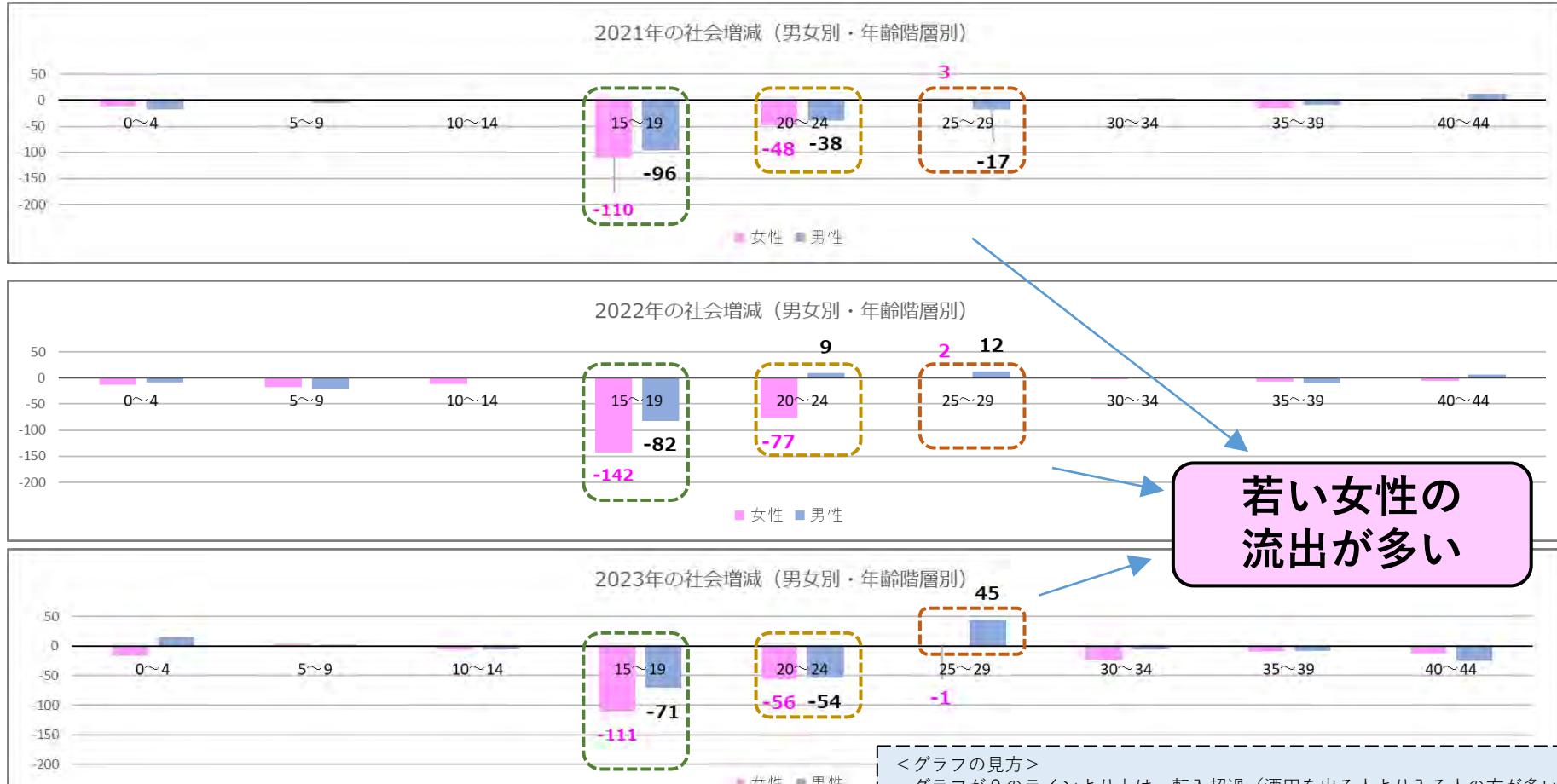
県内133人、県外63人 (県内就職率 計67.9%)

※コロナ禍前のR2.3月卒は、県内202人、県外159人

(県内就職率56%)



# 本市の現状（社会増減）



<グラフの見方>  
 ・グラフが0のラインより上は、転入超過（酒田を出る人より入る人の方が多い）、下は転出超過（酒田に入る人より出る人の方が多い）。  
 ・グラフの人数は、転入者－転出者。差し引きがプラスであれば、入る人の方が多い、マイナスであれば出る人の方が多い。



# 本市の現状（男女の賃金格差）



- ・女性は微増傾向、R5は約242万円（前年比1.79%増）
- ・男性は微増傾向、R5は約370万円（前年比1.03%増）
- ・女性（R5）平均給与収入は、男性の64%

目標値（R9）

68%

① 推移 [H26→R5] 平均給与収入



## 地方都市の人口減少の最大の要因

- ・若い女性（>男性）が都会へ流出している。・・・社会減
- ・その結果、若い女性・男性の婚姻数が減少している。
- ・その結果、出生数が減少している。・・・自然減

## 若い女性の流出の最大の要因

- ・自身の成長を感じられる仕事を選べない。所得水準が低い（「所得水準」と「若い女性の流出率」には相関関係あり）。
- ・伝統的な性別役割分担意識が強く、自由に生きられない。



平成29年度市民フォーラムで  
**「日本一女性が働きやすいまち」**  
を目指す宣言を行いました



市民フォーラムでは、行政、経済団体、経営者、働く人が連携して取り組んで行くことを宣言しました。



# 日本一女性が働きやすいまち宣言



## 日本一女性が働きやすいまちへ

少子高齢化が進み、生産年齢人口が減少する中、誰もが生き生きと働き続けることのできる環境を整えることが、地方創生の根幹となります。

酒田市は、自らの意思によって働くまたは働くとする女性が、その個性と能力を十分に發揮し、その思いを叶えられるまちを目指し、「日本一女性が働きやすいまち」となるよう、行政、経済団体、経営者、働く人が連携して取り組みを進めていくことをここに宣言します。

平成29年10月1日



# 本市女性活躍推進3本柱



酒田市では、「日本一女性が働きやすいまち」を目指し、下記3つのテーマを柱に女性活躍に取り組んでいます。

## (1) 働きやすい職場環境整備

|    |   |
|----|---|
| 目標 | 事業主への意識啓発   |
|    | 働きやすい職場環境の増加<br>(女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定済企業、えるばし認定企業の増加) |

## (2) 家庭との両立支援

|    |   |
|----|---|
| 目標 | 特別保育等子育て支援サービスの拡充                           |
|    | 保育需要の多様化への対応                                |
|    | 家庭における意識啓発<br>(家事の見える化や家事代行の活用等による家事シェアの推進) |

## (3) 女性のチャレンジ支援

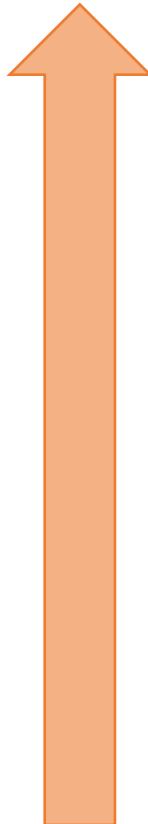
|    |                        |
|----|------------------------|
| 目標 | 多様な働き方ができる環境整備         |
|    | 女性のスキルアップや再チャレンジへの不安解消 |



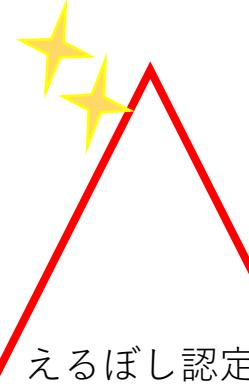
# (1) 働きやすい職場環境整備



ステップアップ



女性活躍支援員が  
企業訪問 & サポート



えるぼし認定

女性活躍推進法に基づく  
行動計画の策定

日本一女性が働きやすいまち  
宣言に賛同するリーダーの会

ステップ3

厚生労働大臣の  
認定

ステップ2

山形労働局へ届出

ステップ1

まずは賛  
同



# 賛同状況



## 日本一女性が働きやすいまち宣言に 賛同するリーダーの会

8月末現在

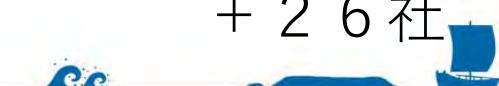
147社



|       | 令和3年度<br>R4.3.31時点 | 令和4年度<br>R5.3.31時点 | 令和5年度<br>R6.3.31時点 |
|-------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 賛同企業数 | 47社                | 73社                | 129社               |

+ 26社

+ 56社



# 取り組みの結果



- ・日本一女性が働きやすいまち宣言に賛同するリーダーの会

会員数 **147** 社 (令和6年8月末現在)



- ・えるぼし認定企業 **8** 社 (令和6年8月末現在)

認定段階：えるぼし3段階目 6社、えるぼし2段階目 2社

業種：製造業4社、建設業1社、不動産業2社、医療1社



**県内トップ！  
全国でも第2位！** (東京23区、県庁所在地、政令指定都市除く)



## (2) 家庭との両立支援



**new**

- ・家事シェア推進月間を設定し、市民参加型の「家事シェアチェック宣言」による意識啓発を行う。
  - ・参加者の中から抽選で**家事代行お試しクーポン**を交付する。

**“家事・育児シェアが見てわかるシート”**  
～自分たちの生活スタイルに合った分担表を考えてみよう～

**ステップ1**

家事・育児の現状を把握し  
理想のシェアを見つけよう！

普段の家事分担をチェックしてみよう  
↓  
結果について家族で話をしてみよう  
【チェック】  
 □話し合い、協力、分担している。  
 □自分で自分が切っている。  
 □主に夫婦でやっている。積極的に関わっている。  
 □間違えたことはやっている。  
 □関わっていない。  
 □主に自分が担っているけど、充実している（うらうない）

OK!

・自分がだけ大変だな感（忙しい、つらい、疲れる）  
 ・もっと関わなければとは思っているけれど…

**家事シェアで解決！**

「家事や育児は主に女性がやるもの」というような、無意識に思ひ込んでいたり、「性別による役割分担認識」はないかな？

**改善系  
(これからは)**

それぞれに分担している家事に手を付けてみよう

| 家事の名前 | 自分 | パートナー( ) |
|-------|----|----------|
| 掃除    |    |          |
| 食事    |    |          |
| 育児    |    |          |
| お風呂   |    |          |
| 洗濯    |    |          |
| 洗車    |    |          |
| 子育て   |    |          |
| その他   |    |          |

**チェック！**  
「現状を把握しよう！」

**チャレンジ！**  
「理想のシェアを見つけよう！」

**ステップ2**

家事シェアを実現する  
大事なポイント

あなたらしく、わらわらしく

- 自からうなぎ場内で  
「お互いの尊重したコミュニケーション」を大切にしよう。
- それがいのちを守ったやさを教じよう。  
▶ちゃんと話し合ってがんばることが本当に大事。
- 手分けして、できるところからやってみよう。  
▶できないことをあきらめず、自分自身の精神を忘れずに。
- まずはよりアドバイスをしよう！  
▶ダメ出しがしない。相手への気遣いを忘れずに。
- 「ありがとうございます」の感謝の気持ちを伝えよう。  
▶大切な家庭を築くからさうろう。（かわいい感じ）など。
- 家事分担はメンツナシ式でいい。  
▶他の家庭がギギンと思ふらしく目を吐く。見直しよ。

**要に分担が偏っている場合の事前準備（ヒント）**

- 夫や家族へ分担してもらえない場合は何を考える。
- 分担してもらいたい家の事柄の説明、説明、かかる時間を具体的に書いておく。詳しくはどこで…？
- 夫や家族はその家事についてどう考えているか。  
(同意？苦手？)選択条件がねがはってくどい？など)
- 自分が優れるポイントなどはあるのか。  
(優先順位を決めておく。選2からスタートするなど)

**・家族の生活が楽しく快適になります**  
**・家庭の会話やおしゃべりが生まれます**  
**・日々の暮らしにゆとりが生まれます**  
**・自分の事として一生懸命に立ちます**

## 家事シェアチェックシート

### (3) 女性のチャレンジ支援



## 酒田市産業振興まちづくりセンターの取組み

### 背景（課題）

- ・女性の就業率が全国平均と比べて高いが世帯収入が低い
- ・ワークライフバランスが取れていない

### 目的

#### 【市内女性】

- ①新しい・多様な働き方の推進
- ②複業による収入アップ

#### 【市内事業者】

- ・ITツール活用・課題解決



### 市内企業

#### 中小・小規模企業のサポート

- ・SNS発信代行
- ・HP制作
- ・チラシ制作等

仕事獲得 &  
事業者の課題解決

女性  
育成

### IT女子育成講座

- ・**入門編**
- ・**実践編**（より実務的な講座）  
SNS・WEB・会計事務等

仕事獲得

### 市外・県外企業

#### リモート環境で可能な仕事

- ・記事作成
- ・動画編集
- ・データ集計
- ・事務代行業務等

# (参考) IT関連企業の立地状況



- ◆令和3年11月～  
パイルシェイプスルパン(株)様



本市出身者が神奈川県で起業し、  
「ICTで住みやすい街づくり」に  
寄与するため故郷の本市に移転



Why  
?

DX推進  
アクセス良  
女性も活躍

- ◆令和4年3月～  
(株)SIG様



R6年4月には50名規模  
の第2オフィス「酒田  
開発センター」を設立

- ◆令和6年4月～  
PLCパートナーズ(株)様



PLC Partners



卒業後地元に居ながら就業したい学生ニーズに対応した新しい採用プログラムを酒田市と共同で推進

- ◆令和5年6月～  
(株)サイダス様



働きがいをつくる人事DX  
の開発・販売を行う当該  
企業と連携し、行政の  
人事制度改革やIT人材育成  
に向けた取組を検討中



# 日本一女性が 働きやすいま ちを目指す！

酒田市は、平成29年10月1日に「日本一女性が働きやすいまち」を目指すことを宣言。宣言文:『少子高齢化が進み、生産年齢人口が減少する中、誰もが生き生きと働き続けることのできる環境を整えることが、地方創生の根幹となります。酒田市は、自らの意思によって働くまた女性が、その個性と能力を十分に発揮し、その思いを叶えられるまちを目指し、「日本一女性が働きやすいまち」となるよう、行政、経済団体、経営者、働く人々が連携して取り組みを進めしていくことをここに宣言します。』この宣言の背景には、自分の個性や力を発揮して、お互に尊重し合えば、日々わくわくが生まれるまちになるはずという思いがわくわくが生まれるまちであったから。誰もが自分らに、まずは、女性が働きやすいう。職場では、現状を客観的に捉えてみよう。性別に関わらず、自分の可能性を信じてチャレンジしてみよう。そして家庭での役割分担、地域との関わり方などを見つめ直していくば、きっと、このまちは、もっともっと自分らしく働くことができるようになるはず。「女性が働きやすいまち」ということはつまり、「みんなが働きやすい」ということだと思う。



ご清聴  
ありがとうございました。





### (3) 広島県呉市 ※投影資料なし



## (4) 滋賀県



SHIGA



## 滋賀県の 女性活躍の推進について

滋賀県 副知事 岸本 織江





## 本日の流れ

1. 滋賀県の女性活躍の現状と課題
2. 滋賀県における女性活躍推進の取組

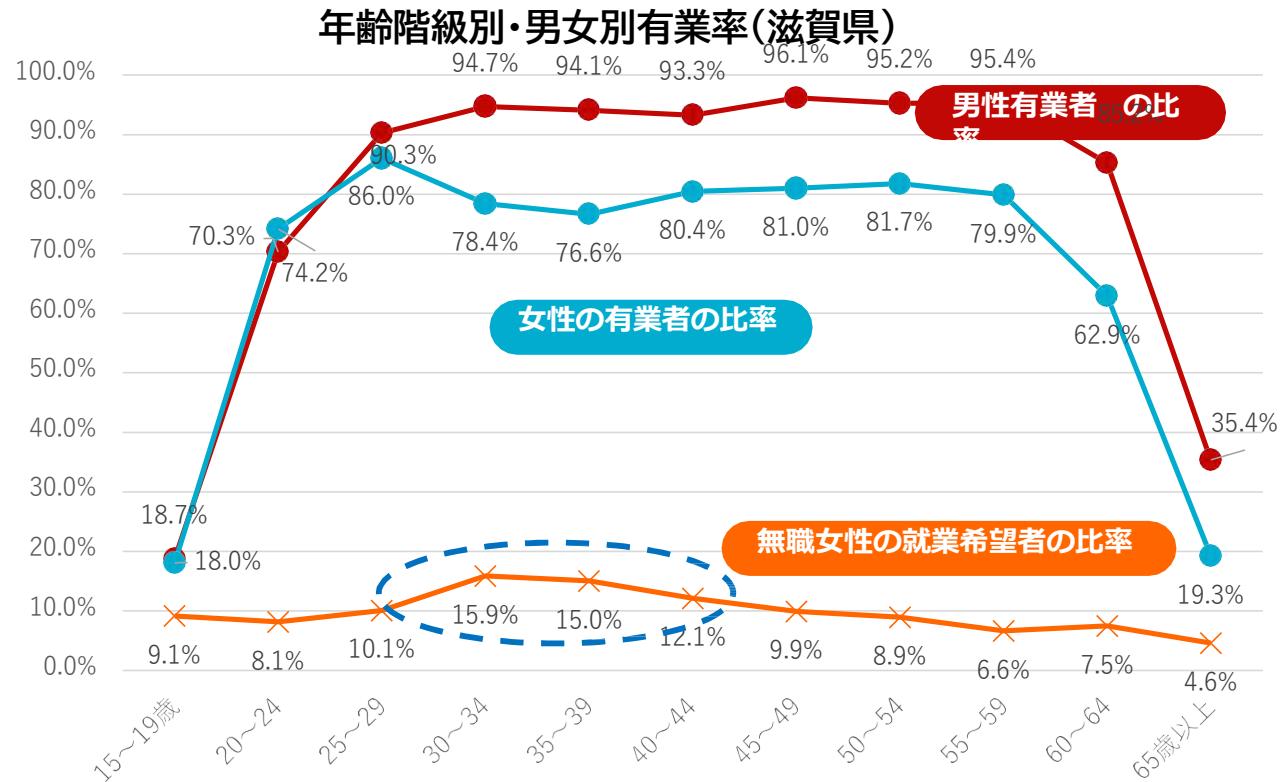


1

# 滋賀県の女性活躍の現状と課題

## I - I. 男女の就業率の差・女性の潜在的な就労希望

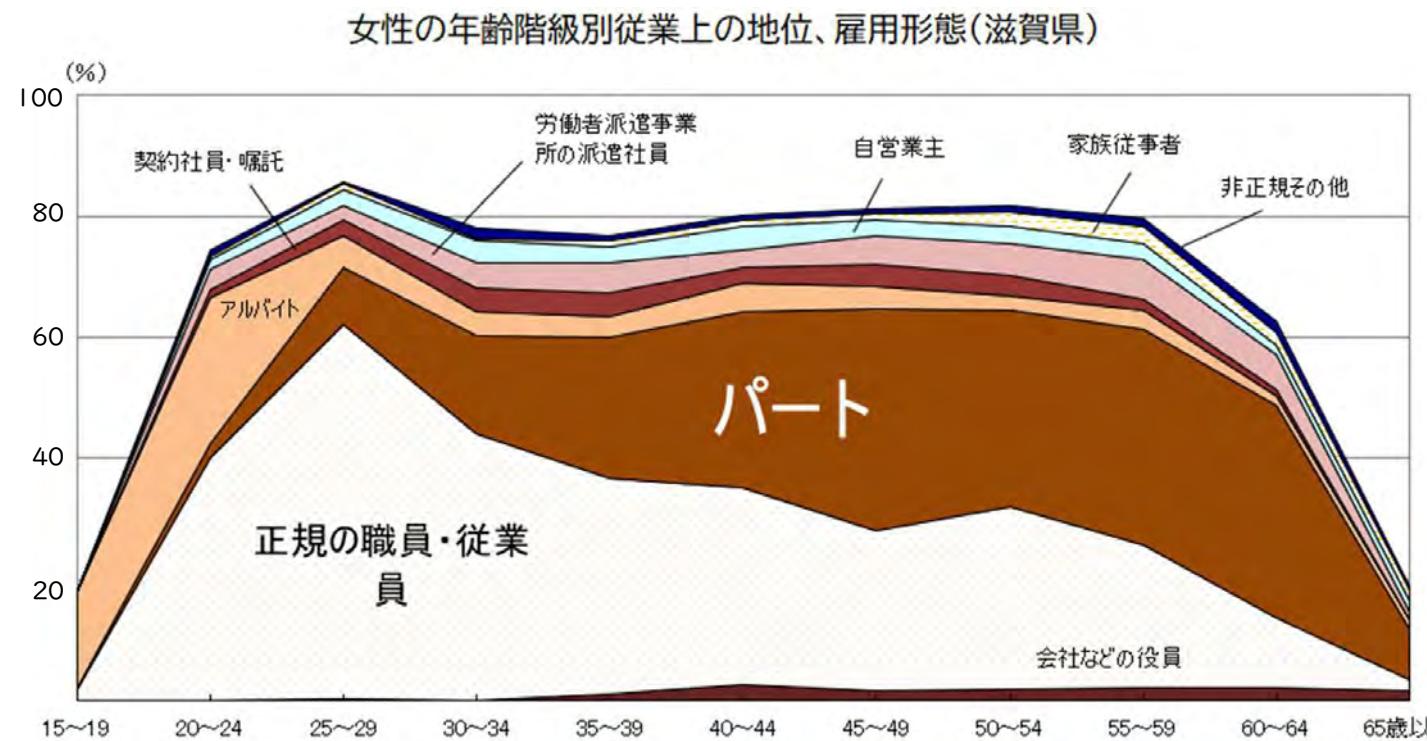
■ 25～44歳の無職女性の約67%の約2万人が就労を希望



出典：令和4年就業構造基本調査

## I - 2. 女性の雇用形態の偏り

■ 女性の有業者に占める非正規の職員・従業員の割合は**全国1位**



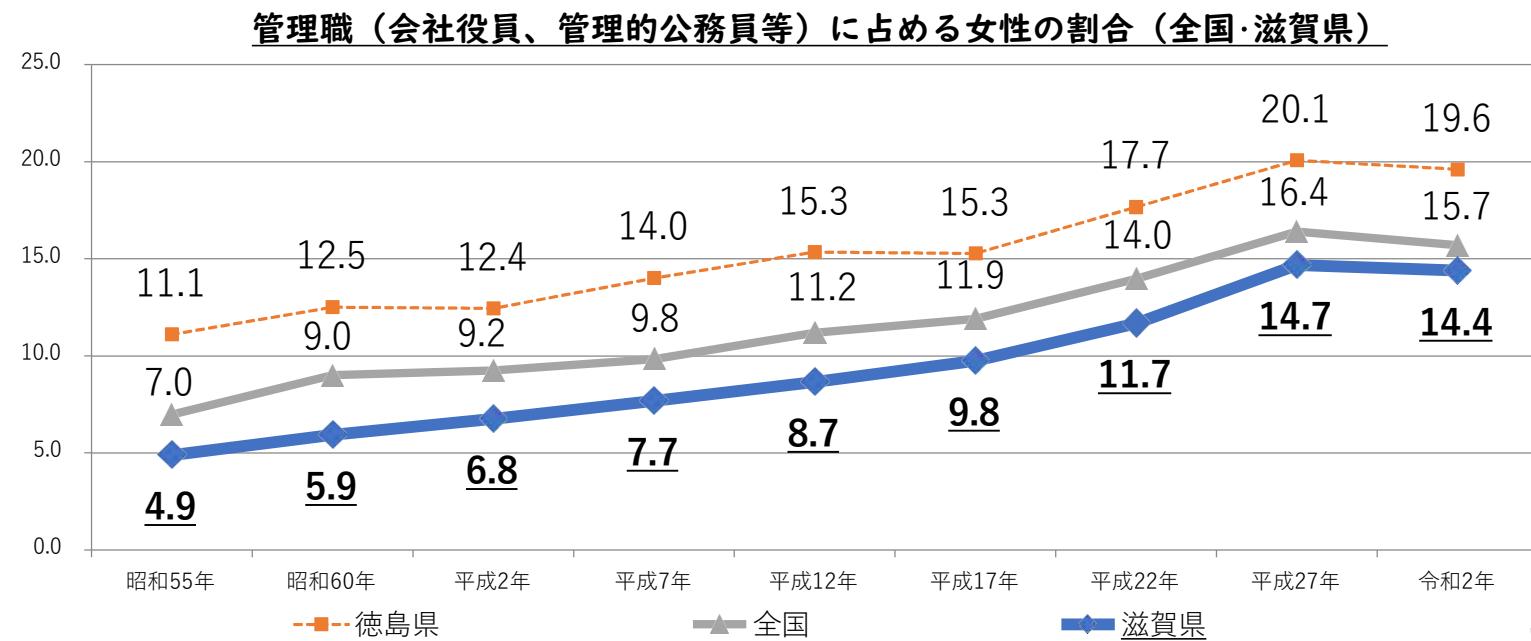
出典：令和4年就業構造基本調査

## I - 3. まだまだ少ない女性管理職

- 管理的職業に従事する者に占める女性の割合  
**14.4%** 37位／47都道府県（R2国勢調査）  
参考 全国：15.7% 1位 徳島県 19.6%

県庁では※…  
H27.4.1 6.0%  
→ R6.4.1 13.8%  
目標 R8 15.0%以上

※知事部局における参事級以上職員



2

## 滋賀県における女性活躍推進の取組

## 2-1. 取組事例①マザーズジョブステーション事業

■ 子育てをしながら働きたいと望む女性たちを応援

滋賀マザーズジョブステーション  
～お仕事に関することをワンストップでサポート！～

### ① マザーズ就労支援相談コーナー

- お仕事や子育てとの両立に関する悩み相談
- 保育園などの入所に向けた情報の提供
- 就労支援に関するセミナー
- 履歴書、職務経歴書、面接のアドバイス

### ② ハローワーク職業相談コーナー

- ハローワーク相談員による子育て中の方に対しての職業相談や職業紹介
- 求人検索による求人情報の閲覧

### ③ 母子家庭等就業・自立支援センター

- ひとり親の方への再就職、転職、訓練、講習会など就労に関する相談や情報提供
- ※状況に応じて出張での相談も可能です



平成23年（2011年）からスタート！全国で2番目に実施

## 2-2. 取組事例②保活直前お仕事探し応援ウィーク

■保育所の一斉申込時期にあわせ、子育て期の方の再就職を支援

- ・就職フェア 合同就職面接会（県内3会場で実施！）



## 2-2. 取組事例②保活直前お仕事探し応援ウィーク

■保育所の一斉申込時期にあわせ、子育て期の方の再就職を支援

- ・就職フェア 合同企業面接会 (R6.9.5 草津会場)



- ・参加企業15社  
(定員15社)
- ・参加者 54人

## 2-3. 取組事例③女性活躍推進企業認証制度

女性活躍に向けた企業の取組促進として…

### ■ 滋賀県女性活躍推進企業認証制度

滋賀県内の女性活躍推進に取り組む企業・団体を、男女の育休取得率や女性の継続

就業、管理職登用への取組など、その実情に応じて

「一つ星企業」 「二つ星企業」 「三つ星企業」 の 3段階で認証

認証企業

➤322社 (R6年7月末時点)

★★★7社 ★★151社 ★164社



平成27年度から実施（今年で、10年目を迎える。）

➤

## 2-3. 取組事例③女性活躍推進企業認証制度

認証を取得するには？

■ 認証基準は全部で32項目！

■ 基準達成数に応じて、認証区分が異なります

### ●定着・両立（18項目）

- 男性・女性の育休取得率
- 育児のための短時間勤務制度、フレックスタイム制度
- 時間単位または半日単位で利用できる有給制度
- 滋賀県ワーク・ライフ・バランス推進企業登録
- 滋賀県イクボス宣言企業登録 

### ●均等・活躍（14項目）

- 女性の正規従業員比率
- 男女の賃金格差
- 育児・介護等を理由とした離職者の再雇用制度
- 非正規従業員対象の正規雇用転換制度
- 研修等への積極的参加、教育訓練機会の整備
- 課長相当職以上における女性比率等



## 2-3. 取組事例③女性活躍推進企業認証制度

認証を取得すると…

### ■ 認証企業のメリット

- 認証マークが使用できます！
- 認証書の交付、県ホームページでの取組紹介による企業のイメージアップが図れます！
- 建設工事の入札参加登録審査でポイントが加算されます！
- 県の公共調達において優遇されます！



認証企業一覧は  
滋賀県のホームページでも確認できます。  
<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kurashi/danjyosankaku/300524.html>



## 2-3. 取組事例③女性活躍推進企業認証制度 認証を取得すると…

### ■ 三つ星企業認証授与式



新聞記事にも！

R6年9月1日（日）中日新聞





女性活躍はまだまだ道半ば…

一人ひとりが  
幸せ感じる滋賀へ

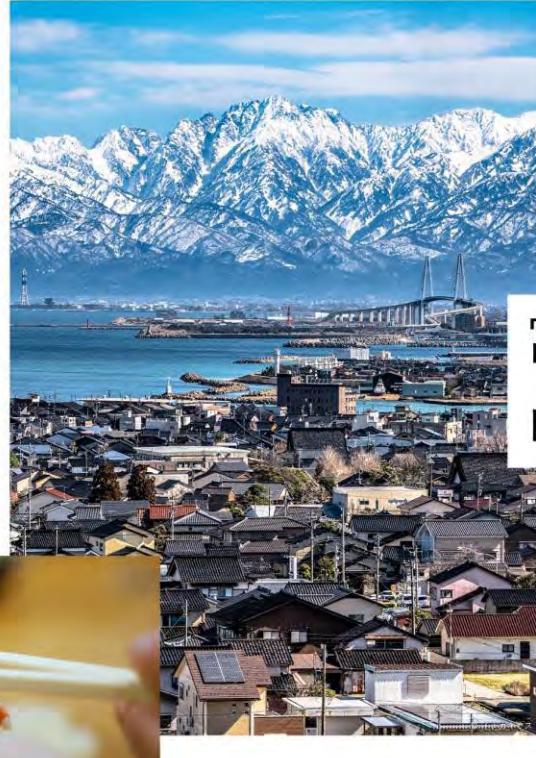
ご清聴ありがとうございました。





# (5) 富山県

# 女性が活躍できる ウェルビーイング富山を目指して



寿司といえば、

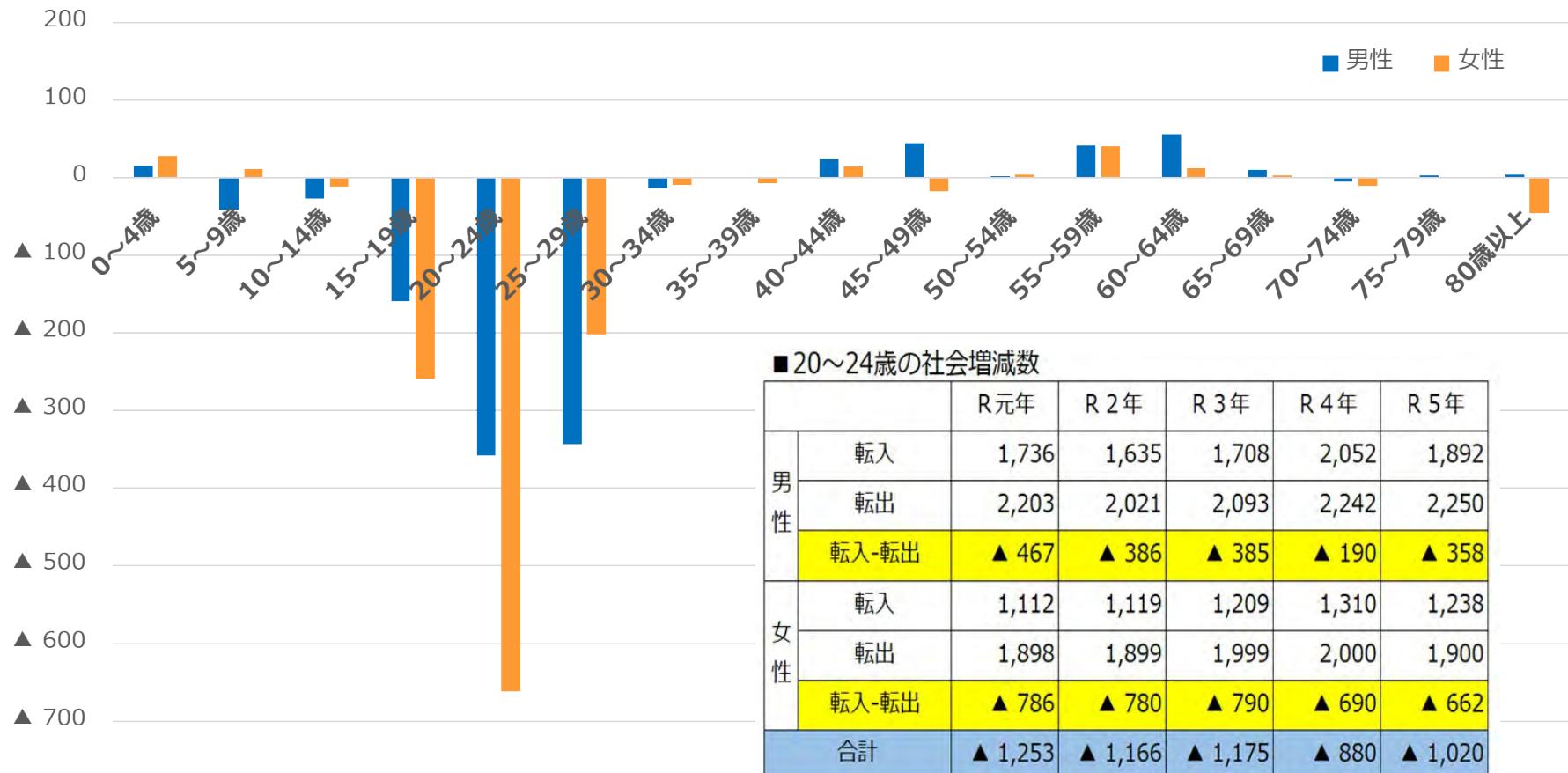


令和6年9月10日  
富山県 副知事 佐藤 一絵

# 年齢（5歳階級）別社会動態

○若年世代（15歳～34歳）、特に就職期と重なる20代前半の女性の転出超過が続いている、  
若年世代の男女の人口のバランスが崩れている

**富山県の人口 9  
97,948人  
(令和6年7月1日現在)**



※R5年(R5.1.1～R5.12.31)、日本人+外国人

資料：住民基本台帳人口移動報告（総務省）

# 富山県の女性を取り巻く環境

- 女性の就業率（15～64歳）  
[R 2] 75.9% (全国 70.6% : 3位)
- 女性平均勤続年数  
[R 4] 12.0 年 (全国 9.8 年 : 1位)
- 女性雇用者に占める正社員の割合  
[R 4] 52.4% (全国 45.3% : 2位)
- 女性の管理職割合（会社役員等含む）  
[R 2] 13.3% (全国 15.7% : 44位)
- 男女間賃金格差  
[R 5] 76.8 (全国 74.8 : 21位)
- 女性の育児休業取得率  
[R 5] 98.9% (全国 84.1%)
- 男性の育児休業取得率  
[R 5] 33.9% (全国 30.1%)

## 【R5年度】

- これって **『アンコンかも!』** と思う言葉や、職場、家庭・地域でアンコンに気づき、**行動した結果、良い変化をもたらしたエピソード**」を募集  
(応募件数104件)
- 「**特設サイト**」において、漫画などで事例をわかりやすく紹介  
(監修:一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所)



# (特設サイト掲載)

## アンコンに気づき、行動した結果、良い変化をもたらした事例



## 【R6年度】

### ○ アンコンシャス・バイアス解消アクション！特設サイトの充実

**女性社員の職域拡大**などの県内企業の取組みや、防災を切り口とした地域の男女共同参画の取組みの解消事例などの情報発信強化

### ○ 小中学校の保護者・教員向け「出前講座」を開催

アンコンシャスバイアスへの気づきが、子どもたちの将来の可能性を広げることを学ぶ講演やワークショップを実施



小学生と一緒に身近にあるアンコンについて話し合う様子（R5.8 県政番組の収録）

### ○ 「防災」を切り口とした男女共同参画の取組み

#### ・男女共同参画推進員（県委嘱、493名）による

#### 「地域のアンコン」への気づきを促す活動展開

男女共同参画の視点に立った避難所運営や自治会活動、身近にひそむアンコンに関するワークショップの実施など



身近にひそむアンコンシャス・バイアスを考えるワークショップの様子（R6.7 研波市）

#### ・防災対策講演会の開催（R6.5）

「災害に強い地域づくり

～防災・減災に活かす男女共同参画と多様性の力～」

減災と男女共同参画研修推進センター共同代表 浅野 幸子 氏

# 「中高生×富山で働く女性」交流会

## ◆富山県にUターン就職しなかった理由 (R4富山県Uターン調査)

- ①現在の居住地の方がプライベートで刺激が得られる 40.4%
- ②富山県に志望する業種がなかった 28.7%
- ③富山県に志望する職種がなかった 25.1%



企業のPR動画を作成

中高生にライフプランやキャリア形成について考え、**県内就職の視野**を持っていただくため、中高生と県内企業の女性社員との交流会を開催

■日時・場所 8月6日（黒部）、9日（高岡）、19日（富山）

■参加者 県内在住の中高生 51名

「富山で働く女性」は、企業の若手社員、農業、起業家など**幅広い業種・職種から選定。大学生が企画段階から参画**



飲み物を飲みながら気軽に雰囲気で交流

## ■参加中高生の意見

- ・県外へ行きたい気持ちが強かったが、**楽しそうに仕事をされている姿を見て富山もいいな**と思った。
- ・同じ会社でも多くの部や課があることに驚いた。
- ・自分が知らないだけで、**やりたい職業が富山にあるのではないか。**
- ・富山で働くことが楽しそうだと思った。**県外に出て経験を積んでから富山県に戻って働きたい。**

## ○企業魅力発信セミナー

県内企業が若者や女性に選ばれるため具体的な手法を学ぶセミナー

- 日 時 7月29日(月)15時～17時30分
- 参 加 者 **経営者**や人事責任者等 300名参加 (オンライン含む)
- 基調講演 ① Z世代に響く女性活躍の取組みの情報発信

(株) 日経BPコンサルティング取締役 中野 恵子 氏

② 社是「おもしろおかしく」

(株) 堀場製作所 理事 管理本部 副本部長 森口 真希 氏

③ トークセッション 大学キャリアセンター

昭和女子大学、名城大学、奈良女子大学



中野 恵子 氏

(株) 日経BPコンサルティング  
取締役



天野 馨南子 氏

県政エグゼクティブアドバイザー  
(株)ニッセイ基礎研究所  
人口動態ニアリサーチャー



## 【R5年度 実績】

### ○ キックオフ会議 (R5.4)

- ・県内の経済団体、業界団体のトップが一堂に会し、人口減少、

特に女性の社会減、少子化の現状を共有、対策を協議

### ○ 企業トップセミナー (R5.8)

## ○ 「とやま女性活躍企業」認定証交付式・企業間交流会

- 日時 9月5日(木)
- 場所 富山県民会館バンケットホール
- 参加者 経営者や人事責任者等
- 「とやま女性活躍企業」認定証交付式  
**<認定企業数> 76社 (R6.9.10時点)**

### <認定基準>

- ①**女性の管理職比率** ▶産業ごとの全国平均値以上
- ②**時間外労働等の時間数** ▶各月ごとに全て45時間未満
- ③女性活躍推進に向けた具体的な取組みを1つ以上実施 等

### <メリット>

県HPや企業情報サイト「就活ラインとやま」への掲載  
就職説明会や就職支援イベントへの優先参加 等

- 事例発表 (株)日本オープンシステムズ：トップの本気度で取組みが加速  
富士化学工業(株)：アンコンシャスバイアス、女性の健康課題への対応



認定証交付式 19社認定 (R6.9.5)



## ○女性活躍専門コンサルタントに相談できるワークショップ交流会

誰もが活躍できる職場づくりに向けて自社の取組みを見直すワークショップ<sup>®</sup>、個別相談会

- 参 加 者：経営者や人事責任者等 30名程度
- 講 師：女性活躍専門コンサルタント 5名

## ○女性活躍専門コンサルタントの派遣

訪問（オンライン又はリアル）によるヒアリングを実施し、

**企業の個別課題に応じたアドバイス**を実施

- 対 象：県内に本社又は事業所がある企業
- 費 用：1企業6時間まで無料！



**R6年度 新たに就任  
(ヘルスケア分野の情報発信)**

日経BPコンサルティング取締役  
人事・労務担当、マーケティング事業統括  
**中野恵子 氏 (富山県出身)**

## ○働き方改革・女性活躍サポート事業費補助金

《補助率・額》 **対象経費の1/2(ソフト：上限25万円、ハード50万円)**

《取組み例》

- ・アドバイザー等を活用した社内セミナー、ワークショップ等を開催
- ・女性特有の**健康課題**（月経・妊娠前後の体調・更年期障害等）に対応した**フェムテックサービスの導入**や休養スペース、授乳室の整備

# 煌めく女性リーダー塾の開催

リーダーを目指す女性社員の相互交流と自己研鑽を図り、業種・職種の枠を超えたネットワーク構築 (H25~R5 : 600名卒塾)

## ◆スキルアップコース

リーダーシップ、コミュニケーションをテーマとした  
1回完結型の講座（全6回）

係長級を目指す方

## ◆アクションラーニングコース

グループワークを通し、組織に貢献できるリーダー像を  
考える連続講座（全7回）

課長級を目指す方



佐藤副知事の開講式挨拶(塾生80名)

## ■知事とのトーク(R6.8.30)

### <塾生の意気込み>

- ・この塾で自分を見つめなおし、リーダーとしての心構えやスキルを学び、会社で貢献したい。
- ・受講生との交流の中で自社の強み・課題に気づけた。
- ・受講生との横のつながりも作って、今後のキャリアに活かしたい。



新田知事とのランチトーク

## ◆マスタークラス

企業の意思決定に関わる女性のトップ人材を育成する講座（全6回）

役員クラスを目指す方

9月20日開校式

# ご清聴ありがとうございました



富山県ウェルビーイング特設サイト